【授業科目】在宅看護学演習Ⅱ(研究方法)　Advanced Seminar of Home Health Nursing Ⅱ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
多次 淳一郎	1年次 後期	選択	2	60	演習	巻末 掲載

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	学生自ら関心のある看護の各領域において、自らの研究課題について理論的・実践的な視点から探究する。また、学生は文献学習や実践を通して個人・家族・集団のいずれかを対象とした、在宅看護及び関連看護・医療・福祉領域における課題へのアプローチの方法について検討し、研究テーマおよび研究方法について探求する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／討議、プレゼンテーションを通してピアおよび教員からコメントを行う。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、③、④の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 関心領域における自らの研究課題について理論的・実践的な視点から探究することができる。 2. 在宅看護領域における履修者の関心・問題意識を精錬し。課題へのアプローチ方法を考察できる。 3. 研究テーマ、問題へのアプローチ方法・研究方法を具体的に表現することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	第1回～第30回事前学習：配布資料と授業で紹介する文献は、時間外にも読み授業での学びを深める。 関連する文献を自分でも検索し、授業の学びと合わせてプレゼンテーションの資料作成にいかす。(各60分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　コースオリエンテーション 第1～10回　リサーチクエスチョンをたてる・課題の吟味 ・みずからの関心・問題意識に基づき、研究課題に関する文献レビュー、概念の整理 ・理論的枠組み、評価尺度を用いての事例のアセスメント・評価の思考 第11～24回　研究方法の検討 ・研究デザイン ・研究方法 質的研究法（フィールドワーク方、面接、フィールドワーク（参与観察)、グループワークの技法) 量的研究（評価尺度、因果仮説検証、推定。調査研究、質問紙) ・倫理的課題と配慮 第25～30回　プレゼンテーション・まとめ ・第24回までを通じて検討した過程（問題意識、リサーチクエスチョン、アプローチ方法）と考察を資料にまとめ、プレゼンテーションする。 ・プレゼンテーション内容について討議し、様々な研究のプロセスを考察する。 ・自身が行ったプレゼンテーションに対する意見をふまえ、ここまでの研究過程を見直し、必要な修正を行う。
評価方法 評価基準	参加状況（40%） プレゼンテーション（60%）

教科書	特に指定しない	参考書等	適宜紹介する